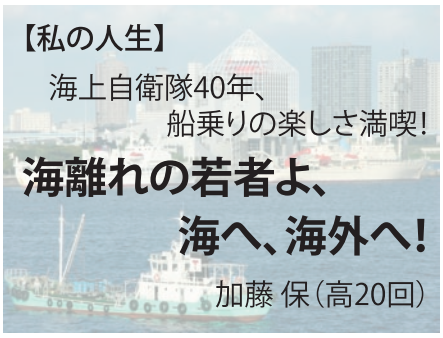

【私の人生】

海上自衛隊40年、船乗りの楽しさ満喫!

海離れの若者よ、海へ、海外へ!

加藤 保(高20回)

昨年の東京同窓会懇親会では、母校の体育祭の様子がスクリーンに映し出された。後輩たちがスタンドに座り人文字を作っているのを見て、僕らの時代と同じことをしていると驚いたのと同時に、卒業して約45年、後輩たちがしっかりと伝統を守っている姿に嬉しくも感じた。

大海原への門出

伝統と言えば、防衛大学校を卒業して、「伝統墨守　唯我独尊」と評される海上自衛隊に入隊、約40年間勤務し5年前に退職した。

その海上自衛隊生活のスタートは、第一次オイルショックの2年目、昭和49年に参加した遠洋練習航海だった。横須賀を出港、太平洋を横断、パナマ運河経由、カリブ海、大西洋を経て、地中海へ。当時スエズ運河は第三次中東戦争により使用不能だったためアフリカ大陸西岸を南下、喜望峰を左に見て、インド洋に入り、マラッカ海峡を抜け横須賀へ帰る約5カ月の航海で、12カ国を訪問した。

この航海が23歳の青年に与えた影響は計り知れないものがあり、今の若い人々も、多感な時代に留学や旅行などで外国を見て、外国人と直接接する機会を得ることは大切と思う。

入港の楽しみ

海上勤務は、船が港を出ると任務や訓練のために相当ハードなスケジュールとなるのが普通だが、終了後の港への入港は楽しいものとなる。日本国内の港はもとより、海外の港へも数え切れないほど入港した。現地の人々に接し、その文化に触れ、地元の名物等を味わうのは楽しいものである。

寿司とチリの白ワイン

2000(平成12)年にハワイで実施された米海軍主催の環太平洋合同訓練に護衛艦等10隻を率いて参加した。約1カ月の訓練終了後に、全参加国による艦上レセプションが実施され各国が自慢の料理とアルコールを出品する。ここで一番お洒落なスタイルは、日本の寿司を片手にチリの白ワインを飲むこと。当然、日本コーナーは長蛇の列となり、日本の指揮官である私は淑女たちに取り囲まれることになる。淑女に頼まれると断れない私の指示で寿司が運ばれてくるからだ。

艦上レセプションに何故淑女が

海軍の指揮官クラスは、本国から奥さんを呼び寄せ、レセプションに参加させる例が多い。海上自衛隊でも日本国内では奥さん方がレセプションに参加することは多いが、外国まで出向くことはない。「君は幸せだね。奥さまに愛されて」との私の声かけに「これも女房孝行でね」と、にんまり答える外国の士官が多かった。

外国の男性は、日本人男性より女性、特に奥さんへの気配りが素晴らしい。

※

ところで、日本人、特に若者の海離れが話題になって久しい。海洋国家であり、船による貿易で日本は今日の繁栄を謳歌している。それだけに、一人でも多くの若者が海へ、海外への雄飛を目指してほしいと願っている。

染織で活躍の釜我敏子さん(高10回)福岡県文化賞と伝統文化ポーラ賞を受賞☆

一昨年の本紙「活躍する同窓の仲間たち」に登場いただいた染織家の釜我敏子さん(高10回・春日市在住)が、昨年秋には、第22回福岡県文化賞と第34回伝統文化ポーラ賞に輝きました。

釜我さんは平成24年9月には第59回日本伝統工芸展で栄えある朝日新聞社賞を受けたのですが、その際の編集部の取材に、「これからの人生、染織の道を慎み深く、大切に、いろいろなことに挑戦していきたいと思っています。勉強と辛抱を忘れずに、精進していきたいですね」と話しておられたのです。まさに、そうした絶えざる精進が生んだ目覚ましい活躍に対する今回の受賞です。

11月の福岡県民賞は「創造部門」での受賞で、釜我さんお一人(他は社会部門と奨励部門の各1団体)。「個性的・創造的な文化活動を行い、優れた業績を残し、県民文化の向上・発展に貢献した」ことが高く評価されたものです。

一方、公益法人ポーラ伝統文化振興財団によるポーラ賞の授賞式は10月23日、東京・赤坂のホテルで行われたのですが、優秀賞を受けた釜我さんの型絵染の作品や制作作業中の写真などが展示され、大勢の人が見入っていました。

授賞式の最後に釜我さんが、5人・3団体の各賞の受賞者を代表して、「素直な気持ちを保ち、感動する心を持ち続けることを自身に律して」と、お礼の言葉を述べると会場から大きな拍手がおくられていました。(編集部)

創立百周年の2017年総会・懇親会の当番幹事学年「4の会」がキックオフ

石松 昇洋(高34回)

私たち34回は、一昨年末に開催した同期会で、母校が創立100周年を迎える2017年の当番幹事にあたることを確認し合いましたが、今回、その第2弾として昨年11月1日、「4の会キックオフの集い」を開催しました。

4回から64回までの皆さんに声掛けさせていただき14、24、34、44、54、64各回の計16名が参加し、大いに盛り上がりました。64回は、まだ大学生です(僕にもそんな時代があったんだと本当に懐かしくなりました)。

現時点では、情報収集を始めたくらいで、まだ明確なアイデアがあるわけではありません。まずは親睦を深め、より縦と横のつながりを大事にし、一致団結して百戦錬磨の福高パワーを発揮して、これからの長期戦を乗り切っていきたい、と思っています。より多くの「4の回」の皆さんの参加と、同窓の方々の応援、よろしくお願いいたします。